

日本防火技術者協会 会員各位

エレベーター避難エスカレーター避難検討WG 委員の公募

このたび、日本防火技術者協会では、エレベーター、エスカレーターの避難利用の促進を目的としたワーキンググループを設置することにいたしました。この問題は、高齢化社会を迎える中で実用化することが急務であり、いくつかの既往の検討があるものの、実際の建物へ適用には至らない状況にあります。協会に関わる防火技術者が所属などの枠を超えて知恵を出し合うことにより、ぜひ実現したいと考えています。

委員は、公募により募集いたしますので、参加希望者は11月29日（金）までに下記宛にメール願います。

WGの概要を下記に示します。

- ・開催頻度：10回／年程度
- ・開催場所：東京理科大学 神楽坂校舎 会議室
- ・参加資格：JAFPEの会員であること
(個人会員 年会費¥3,000、法人会員 同¥30,000)
- ・参加希望連絡先 担当理事 山田 茂 syamada@fujita.co.jp

詳細は次頁の資料及び下記の参考資料をご覧ください。

参考資料：東京消防庁「高層建築物における歩行困難者等に係る避難安全対策」

日本防火技術者協会 WG 委員公募

2013.10.22 日本防火技術者協会

1. WG名 エレベーター避難エスカレーター避難検討WG

2. 検討内容

高齢化社会の加速や、どのような人にも不都合のないユニバーサルな社会の実現化が求められる中、火災時には建物からの迅速な避難を可能とすることが求められている。そのような状況で、今まで各種研究組織や団体でエレベーター、エスカレーター避難の実現に向けた研究が行われてきた。また、東京消防庁は、今年から迅速な避難が難しい人のために、一時退避スペースを設け、非常用エレベーターによる避難・救助を可能とすることを指導するための指針を定めた。

このような中で、今までの研究を包括的に検討し、より実務的な側面から防火に関わる各立場の関係者、建物の管理にかかわる関係者などでエレベーター・エスカレーターの避難利用をより普及させるための方策を検討する。

検討の主たる内容は以下の通り。

- ・ エレベーター・エスカレーター避難のために必要な建物側の空間や設備の整理
- ・ エレベーター・エスカレーター避難のための誘導などソフト的対応
- ・ 普及を促進するための一時避難スペースの容積参入除外等の措置

3. WGの構成

担当理事+公募会員

できれば、研究機関、行政、消防、建物管理等幅広い人材を集めたい

4. 検討期間 2013年11月～2014年12月

必要に応じ次期検討を行う。

以上